

第62回 昭島市新春駅伝競走大会

昭島市の新春を飾る駅伝競走大会が1月8日に行われ、中学生男子の部に59チーム、女子の部に38チームが参加しました。午後から雪が降るといふ予報の中、気温こそ低めでしたが、沿道の皆さんの温かい声援を受けながら13・01キロメートルを6人で継走しました。



中学の部男子優勝 (清泉中学校)



中学の部女子優勝 (拝島中学校)

中学生男子の部では昨年に引き続き「清泉中陸上競技部」が、女子の部では「拝島中陸上競技部」が優勝しました。



新春駅伝スタートを切る (男子) 目指せ優勝!

この二年、たくさんの大会に出場してきましたが、昭島市新春駅伝は私にとって特別な思いのある大会でした。私は陸上部の中であまり速い選手ではありません。「都大会を目指す!」という目標を持ってみんなで練習に励んでいます。私にとっては遠い遠い目標です。それでも常に、自己ベストを更新するよう、毎日の練習では一本一本大切に走ってきました。でも、昨年の昭島市新春駅伝でも中距離ランナーとして練習してきたにもかかわらず、BチームにもCチームにも入れず悔しい思いをしました。それから一年間、Aチームに入りたいとずっと思っていました。一

仲間と走った新春駅伝

人では良い結果を出せないけれど、駅伝ならチームのみんなの力を借りて、私にもきつと良い思いができるのではないかと感じていたからです。そして、運良くAチームに入ることができました。今まで一



瑞雲中学校 2年 齋藤 南歩さん

緒に練習してきた仲間とやっと一緒に走れると思うと、とても嬉しく、一年間練習してきた良かったと思います。

その喜びは一瞬で、次の瞬間からはプレッシャーとの戦いでした。今まで遠かった仲間と同

じチームに入れたということで「絶対に足を引っ張るわけにはいかない」という気持ちで当日を迎えました。一区も二区も三区も四区も常に上位でタスキが渡っていました。私も順位を落とさぬよう必死に食らいつこうと決めていました。でも、ダメでした。登り坂で上手くペースを上げられなかったこと、前に見えていた選手がどんどん小さくなっていったことを思い出すと、仲間申し訳ない気持ちでいっぱいになります。結果は満足いくものではありませんでした。でも、終わってみると悔しい気持ちよりもなぜか「楽しかった」という気持ちがあふれていました。

このチームで走れるのは、これが最初で最後ですが、少し大人になつたら、またこの駅伝にみんな



新春駅伝スタートを切る (女子) 目指せ優勝!

十年ぶりの優勝

私は今年、二度目の新春駅伝でした。去年は優勝できず、区間賞を取ることもできませんでした。だから今年は絶対優勝し、区間賞を取るといふ目標を立て、この駅伝に臨みました。

本番では「一位で襷が来なかつたらどうしよう」とか「抜かされたらどうしよう」等とすごく緊張しました。でも、二区の選手が一位で二区に襷を渡してくれました。その後も三区、四区の選手が差を広げてくれたおかげで頑張ろうと思ひ、全力を出し切ることができました。そのまま逃げ切り、見事優勝することができました。本当に嬉し

かったです。

私たち拝島中女子は十年ぶりの優勝でした。私自身も目標だった優勝、区間賞の両方を達成することができました。支えてくださった保護者の皆様や応援してくださった皆様に感謝したいと思います。この経験を生かし、これからも仲間を大切に、部活動に励んでいきたいです。



拝島中学校 2年 桶川 悠希さん

中学の部結果

	男子の部		女子の部	
	チーム名	タイム	チーム名	タイム
1位	清泉中学校陸上競技部	46:54	拝島中陸上競技部	53:34
2位	拝島中陸上競技部	49:18	拝島中バスケ部A	56:22
3位	拝島中野球部A	51:29	多摩辺中陸上競技部with華	56:23
4位	福島中学校バスケットボールA	51:51	瑞雲中陸上部女子A	56:44
5位	昭島リトルシニアA	51:52	清泉中学校陸上競技部	57:15
6位	拝島中バスケA	52:00	THE・めろんぱんず	59:33